

# BUNTO NEWS

ぶんと通信

VOL.116

## 目次

- 伊賀と忍者への思い 次世代へ・・・表紙～2
- 一筆啓上ふるさとへ／夢ing・・・3
- エッセー「賢人・凡人・宇宙人」№17・・・4
- これから情報／ぶんとイベント案内・・・5～7
- 市展「いが」文化会館で3月に開催します・・・8

地元伊賀で修行を積み、パフォーマーとして活躍する女性がいる。若手忍者を増やすための取り組みにも力を注いでいる。「世界に知られた伊賀忍者。でも、地元なのにまだまだ盛り上がりしていない。多くの人をもっと忍者に興味を持ってもらえたら」と。凛々しい表情と鋭い眼光で、忍者の未来を見つめている。

「ハッパ」になったきつかけは、アルバイト先の伊賀流忍者屋敷で「伊賀忍者特殊軍団・阿修羅」の忍者ショーを観たこと。素早い身のこなしや、真剣を使った迫真の演武はすでに評判を呼んでおり、「とても自分にはできない」と思いつつも、門をたたいた。まるで「頭から「お前は忍者になれ」のひびきで、メンバー入りが決まったという。「何の経験もない中から修行を始めました。阿修羅では場数を踏むために稽古よりも実戦なんです。殺陣の立ち回り方もよくわからず、頭からは「ハッパやっぴりハッパやっぴり」みたいな、擬音ばかりの指導でした」と苦笑。感覚で身につける、いかにも忍者修行にありそうな手法で、技と精神を受け継いでいく。

3年間の阿修羅での活躍のあと、いったんは芝居に興味を持って舞台に3年半立ち続けたが、再び伊賀に戻ってきた。そこで新たにつくった忍者集団が「伊賀之忍者衆

“伊賀流くノ一” 池澤 有香 さん

羅威堂だ。

結成の発端は、自分が参加している忍者サークル「伊賀之忍砦」への忍者ショーの出演要請だった。「それなら」と、忍者の殺陣に特化したパフォーマンス集団として羅威堂をスタートさせ、代表におさまった。日本各地から出演依頼が相次ぐ中、昨年3月にはハワイで開かれたホノルルフェスティバルにも参加し、30組ほどが出演したパフォーマンスショーで見事、上位10組に選ばれた。忍者が注目を集め、「忍者は世界共通だ」という思いを実感したという。

国内で忍者に興味を持つ人の多くは、「影の軍団」や「仮面の忍者赤影」にあこがれた40代以上の世代だという。

「ありがたいことですが、10年後が心配。忍者に対して、アクションが好きとか、カッコいいオリジナル忍者像を追及したりとか、色々あっていいと思う。ただ、伊賀流忍者の技はちゃんと伝承して次の世代に渡していきたい。大阪や東京など都市部では忍者の団体がすごく増えたが、伊賀はどこかというところ、意外に興味がない人が若者に多い。世界に知られながらも、地元は盛り上がりかけてないのですよね」

そんな背景から羅威堂は2016年5月、殺陣教室を開講。若い世代を中心に月々4回の教室を地元で開いている。「若い人に忍者に興味をもってもらいつきかけがつけられたら。ぜひ一緒に地域を盛り上げ、県外や海外で伊賀をPRしていきたい」

# 伊賀と忍者への思い 次世代へ

と、熱く語ってくれた。

◇ 羅威堂は、伊賀市文化会館で4月21、22日の両日開催される「伊賀DE忍者博覧会 くにばく」で、特別公演「伊賀に吹く風」を初演する。「15年前の阿修羅にいる頃から台本を書いてきた。やりたいことを詰め込んで書いた。やれる人がいなくてあきらめていたが、羅威堂の活動を始めて実現できることになりました。2回公演には意味があり、「1回観て驚く、2回観て納得する」という内容なので、ぜひ2回とも観てほしい」。

「伊賀流くノ一 有香」の伊賀と忍者への熱い思いは、きつと次世代に繋がっていくと思う。15年の思いが詰まった「伊賀に吹く風」の公演。ぜひ多くの方に観ていただきたい。

＝表紙の写真から続く  
（取材）広報事業委員 木宮 康介





筆啓上 ふるさとへ

## 卒業できません

いとう  
伊藤 たかみ

あと1年もすれば、母校、上野高校を出て30年になる。なるほど自分もいい歳になるわけだが、なぜか未だに、学校を卒業できない夢を見ちゃう。それも定期的に。

これって、どういうことなのだろうと思ひ、あれこれ本を調べてみた。どうやら、昔に思い残しがあったり、今の自分に自信がない人がよく見る夢らしい。なるほど。

しかしよく考えてみたら、後悔のない、すっきりした毎日を送るのって、本当にいいのだろうか。だってそれじゃあ、お迎えが近づいている人みたいだ。もちろん、みんないつかは逝くのだから、そのときはそれでいい。けれど、僕にはまだ早い。住

宅ローンだとか未読の本だとか、冷凍したままのご飯だとか、あれこれ残っている。そもそも、生きるということは、すっきり片付かないことだらけなのだ。片付かないまま長生きしたい。

そんな中、3月には久しぶりに故郷を訪れるつもりでいる。作家・横光利一をたたえる「雪解のつどい」に参加させてもらう予定だ。つい、あれこれ心配をしてしまう。もっと故郷でやれることがないか？ なかったか？ いやいや、いち小説家ごときが何を言う。でも…。それこそ夢にまで出てきそうに、頭の中が片付かないのである。

しかし30年たっても、こんなふう



に故郷のことを考えられるなんて、これはこれで幸せなものだ。達観するよりずっと楽しい。

卒業できない夢も、もう少し見ていたい気がしてきた。

(芥川賞作家、東京都在住)



## 自分を見つめ直す時期

すぎもと きよこ  
杉本 聖子(KIYO)

今、オーストラリアにいます。父や兄の影響もあって将来は音楽のプロになりたいと思ひ、高校3年生から音楽を選考しました。東京の音楽専門学校に通っていた兄から「専門学校よりも海外に行って学んだ方がいい」とアドバイスを受け、高校卒業後の1年間でお金を貯めたあと、ニューヨークに3か月滞在し



ながらボイスレッスンを受けました。ゴスペルやソウル、R&Bにも大いに刺激を受け、帰国後に音楽活動を開始。大阪のライブハウスや、地元の小さなイベントに参加し、知人の紹介で奈良で歌ったこともあります。

2016年9月、伊賀市文化都市協会主催の「Live Road2016」は、私にとって初めてのホール体験。しかも地元開催なので普段は聴いてもらえない方にも来場いただき、自分らしい歌を投げかけられたと思っています。音楽での繋がりもでき、いろんな方に声をかけてもらい、本当に素敵な体験でした。

今は自分を見つめ直す時期と

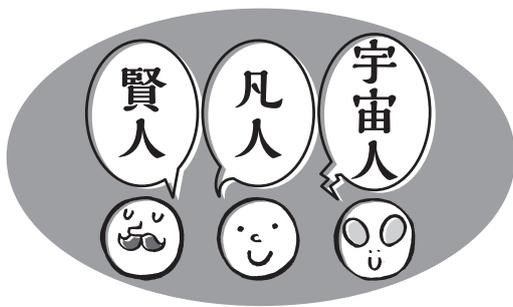
思ひ、いったん音楽の事を考えず、音楽を無くしたら何がしたいのか、本当に将来していきたい事とは何かを探している途中です。でも、歌う



ことは本当に大好きで、一人でも多くの人に私の声を届けたいと思うのは今でも変わらないです。海外でいろんなものをこの目で見て感じ、インスピレーションを蓄えたいと思っています。もっとたくましくなり、支えてくれた家族に恩返しをしないと、と思っています。

(伊賀市高尾出身)

もう30余年前、東京時代のことである。仕事は多忙だし、月一の割合で胆石の発作は起こるし、おかげで家事は放つたらかし。ほごりで窒息はしないと、汚れるに任せていた所へ、思いがけず朗報がきた。暇で困っている主婦がいて、家事を手伝ってほしいと言ったのだ。しかも生活がかかっているから、お給料なんか雀の涙でいい。その上、住居が拙室に近く、歩



No.17 北泉優子

## 千円札の意地くらべ

いて10分くらいなのだ。こんな好条件を逃す手はないと、早速、連絡を取り合い、週二回来てもらうことになった。

彼女A子さんは、小ぶりの大柄な人で、いかにも肝つ玉母さんであった。明るくて、よく喋り、よく働き、料理の味も、わたし好みであった。

A子さんの主人は大手土木会社の設計技師兼現場監督。全国に道路を作っているという。当然出張ばかりで月に1日、2日帰ってくるだけだった。それでも2人の子どもに恵まれ、A子さんは、娘と息子を立派に育てることに専念した。夫の収入は多く、経済的に恵まれ、何の不満も不安もなかった。こんなに幸せでいいのだからかと、常に思っていたという。ところがである。好事魔多しと言いが、亭主に愛人がいたことが判明したのだそう。しかも、その愛人は、A子さんと短大時代からの親友で、旅行会社に勤める独身だった。

「わたし、あなたのダンナと結婚するわ。だから、あなた、身を引いてちょうだい。子どもの親権は、あなたでいいわよ。彼もそう望んでるから。わたしたち、もつ同棲しているのよ」  
隠し事なく相談し合う無二の友人に、金属バットでいきなり殴られたようなショックを受けたA子さんは、夢中で叫んでいた。「あんな男、欲しけりゃくれてやるー! けど、離婚は、絶対にしないわ。死ぬまで、わたしは、あの男の正妻です!!」

泥沼の騒動があり、仲に入るおせっかいも何人がいたが、A子さんは歩も引かなかった。離婚は一生しない! その一点張りで押し通した。自分に

落ち度はない。そう言い切って、住むマンションと生活費二十万円をふんだくることに成功した。

そして約10年、高校生だった娘を結婚させ、中学生だった息子は一流大学を卒業、超大手の商社に就職した。彼は福岡の支社に赴任したという。

半年ほど経ったある日、彼女がポツリと言った。千円札で三十万って、結構重いですよね、と。



「千円札って、どついつ意味?」  
「毎月、三十万、千円札でもらうんですよ!」

「え? 二万円札じゃないの?」  
A子さんは、毎月、三十万円を、新宿のちよと高級な喫茶店で、ダンナから直接受け取る。しかも、千円札三百枚の現金だとか。そう主張したのは、ダンナの方だという。それが夫側の意地らしい。

「ダンナの嫌がらせなんです。だから、わたしは、わざと幾度も数え直して、十枚の束を三十束、テーブルに並べてやるんです。並べている間、あの人は、自分が何をやったか、ずっと考えていると思うから...」

「ダンナ、何も言わないの?」  
「言いませんよ。2人で1時間居ても、今月分、どつもの一言だけ。恥ずかしいわよ。ウエイトレスも他の客も、ジロジロ見てるもの...。お互い、千円札の意地ですよね!」

「そんな意地なんか捨てて、離婚すればいいのに!」  
「いえ、殺されても、離婚はしません。生涯、Aの名で通します。女も主人も憎い。あの2人が幸せになるなんて赦せない!」  
彼女は毅然と告げた。

子どもたちが独立して、心に穴があいたのだろうか。A子さんは、宗教団体にのめり込んでゆき、布教で多忙になったと、拙宅へも来なくなった。およそ3年通ってくれたのだが。

A子さん、どついついるだろうか。健在でいるのかしら。まだ存命で、千円札を数えているとしたら、かなり怖いなあ。わざわざ千円札にする男も、もつと怖いけれど...。  
それにつけても、男と女の関係は、複雑で底が深い。

(作家・市内在住)

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
2/18日 14:00~	和太鼓フェスティバル2018 冬蒼の響	3,000円 (当日500円増)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
2/24日 14:00~	bimonthly lobby Concert Vol.6 夢	500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
2/25日 14:00~	Sing a Song	3,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/3日 14:00~	なるほど~“クラシック” ハイドン、モーツァルトの交響曲の代表曲を知ろう!	無料	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511(伊賀市文化会館)
3/4日 15:00~	淀川吹奏楽部演奏会 伊賀公演	1,000円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/11日 14:00~	三重県立伊賀白鳳高等学校吹奏楽部 第7回定期演奏会	500円	三重県立伊賀白鳳高校吹奏楽部 ☎21-2110(砂原・森野・大森)
3/13日 10:00~	第62回 新入学を祝う よい子のつどい	無料 (新入学予定 児童と保護者)	中日新聞社 ☎052-221-0671 (地域事業部・曾我)
3/17日 16:30~	クラシックのいろは2017 Vol.4 古典派の名曲をオーケストラで!	一般 1,000円 高校生以下 500円、ペアチ ケット(2枚) 1,600円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/18日 17:30~	大黒麻季 Maki Ohguro 2018Live-STEP!! ~Higher / Higher / 中年よ熱くなれ!! Greatest Hits+~	チケット完売	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
4/1日 13:00~	第38回新人演奏会inいが	1,000円 (高校生以下無料)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
4/8日 9:45~	伊賀路会20周年記念発表会	無料	伊賀路会発表会実行委員会 ☎090-5034-9776(秋永)

伊賀市文化会館

## ホールこれから情報

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
2/18日 14:00~	あやまづくり市民会議 青少年健全育成講演会 「いのちと夢のコンサート」	ホール	無料	あやまづくり市民会議・ 阿山公民館 ☎43-0154(阿山公民館)
3/11日 9:30~	第22回あやま芸能まつり	ホール	無料	あやま芸能まつり実行委員会 ☎43-0154(阿山公民館)
3/18日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	ホール	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
3/24日 18:30~	ブルース伊賀の乱 すきい〜に演じます ぼちぼちと...	ホール	一般 3,500円	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
2/18日 13:00~	福祉フェスタin伊賀 ~未来へつなぐ介護の世界~	無料	三重県老人福祉施設協会 伊賀地区老人福祉施設協会 ☎26-0011(彩四季・堀田)
2/24日 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	(公財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
3/18日 13:30~	春だ!和っしょい!! 和太鼓コンサート	無料	青山太鼓保存会 ☎52-0516(中華料理北京)
3/31日 15:00~	名張桔梗丘高等学校吹奏楽部OB会 フェアウェルコンサート	一般 1,000円 高校生以下 500円	名張桔梗丘高等学校吹奏楽部OB会 ☎050-5217-9935(久保田英典)

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
2/24日 14:00~	県政報告会	小ホール	無料	稲森としなお事務所 ☎45-7227
3/18日 12:30~	(公社)三重断酒新生会 一志伊賀ブロック 結成40周年記念大会	小ホール	無料	(公社)三重断酒新生会 上野支部 ☎45-3898

**NEW!** **夜しあわせヨガ**

副交感神経を優位にさせ、心地よくヨガポーズ。一日の疲れを癒し、しあわせを感じていただけます。

日 毎週金曜日 6回コース  
4月6日(金)~5月18日(金) ※5月4日 休講  
19:30~20:30 (受付19:00~)

所 伊賀市民体育館 管理棟 ¥3,000円  
対一般 定25名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 水江 ゆかり先生  
受 3月3日(土) 15:00から ☎22-0511で受付

**トランポリズム**

日 毎週火曜日 10回コース  
第1期 4月10日(火)~6月19日(火)  
※5月1日 休講  
19:30~20:30 (受付19:00~)

所 しらさぎ運動公園 会議室 ¥5,000円  
対一般 定20名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 峯田 敬士先生  
受 3月3日(土) 13:00から ☎22-0511で受付  
↑訂正 ※1回のお電話で2名まで

**Let's YOGA in 文化会館**

日 毎週水曜日 10回コース  
第1期 4月11日(水)~6月20日(水)  
※5月2日 休講  
11:00~12:00 (受付10:30~)

所 伊賀市文化会館 リハーサル室 ¥5,000円  
対一般 定25名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 矢野 妙子先生  
受 2月28日(水) 13:00から ☎22-0511で受付  
※1回のお電話で3名まで

**ラテン系エアロビクス**

日 毎週水曜日 10回コース  
第1期 4月11日(水)~6月20日(水)  
※5月2日 休講  
19:30~20:30 (受付19:00~)

所 伊賀市民体育館 管理棟 ¥5,000円  
対一般 定25名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 嶋津 綾子先生  
受 3月3日(土) 10:00から ☎22-0511で受付

**ラテン系フィットネスZUMBA**

日 毎週木曜日 10回コース  
第1期 4月12日(木)~6月21日(木)  
※5月3日 休講  
19:30~20:30 (受付19:00~)

所 阿山B&G海洋センター ¥5,000円  
対一般 定40名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 川南 林恵先生  
受 3月3日(土) 11:00から ☎22-0511で受付  
※1回のお電話で3名まで

**Let's YOGA in 武道館**

日 毎週金曜日 10回コース  
第1期 4月13日(金)~6月22日(金)  
※5月4日 休講  
11:00~12:00 (受付10:30~)

所 伊賀上野武道館 会議室 ¥5,000円  
対一般 定15名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 錦 真奈美先生  
受 2月23日(金) 13:00から ☎22-0511で受付  
※1回のお電話で2名まで

**Balletone [バレトン]**

日 毎週金曜日 10回コース  
第1期 4月13日(金)~6月22日(金)  
※5月4日 休講  
13:30~14:30 (受付13:00~)

所 しらさぎ運動公園 会議室 ¥5,000円  
対一般 定20名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 高橋 一代先生  
受 2月23日(金) 10:00から ☎22-0511で受付

**マットエクササイズ**

日 毎週月曜日 10回コース  
第1期 4月16日(月)~6月25日(月)  
※4月30日 休講  
10:30~11:30 (受付10:00~)

所 伊賀上野武道館 会議室 ¥5,000円  
対一般 定15名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 阿部 和矢先生  
受 2月26日(月) 13:00から ☎22-0511で受付  
※1回のお電話で2名まで

**エアロビクス**

日 毎週月曜日 10回コース  
第1期 4月16日(月)~6月25日(月)  
※4月30日 休講  
19:45~20:45 (受付19:30~)

所 阿山B&G海洋センター ¥5,000円  
対一般 定35名 ※先着順。定員になり次第締切。  
講 山下 華子先生  
受 3月3日(土) 14:00から ☎22-0511で受付



# バンドフェスティバル

## ワークショップ参加者・出演者募集!!

<募集概要>

### ■1日無料体験ワークショップ

日時：2月25日(日) 14:00～16:30

場所：ふるさと会館いが 大ホール舞台

参加料：無料

定数：先着40名

対象：小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

受付：2月10日(土)午前9時～2月24日(土)午後5時

申込：電話0595-22-0511にて先着順で受付します。

### ■バンドワークショップ

期間：4月8日(日)～7月29日(日)<全11回>

場所：ふるさと会館いが

参加料：8,500円(発表会当日のワンコインコンサートのチケット代金500円を含む)

定数：先着40名

内訳：初心者コース20名(ギター・ベース・ドラム・ボーカル各5名)

中級者コース20名(同)

対象：小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

受付：3月4日(日)午前9時～3月18日(日)午後5時

申込：電話0595-22-0511にて先着順で受付します。

ワークショップ受講者(初心者・中級者)、地域で活動するバンド、プロミュージシャンの一同が伊賀に集結し、熱いステージをお届けします!!



### ■出演バンド

日時：7月29日(日) 13:30開場 14:00開演

場所：ふるさと会館いが 大ホール

募集：3月4日(日)午前9時～

3月31日(土)午後5時必着

募集枠：5組(応募多数の場合は選考により決定します)

参加料：バンド一組につき10,000円

(チケット20枚お買い取りください)

演奏：1組につき15分(セッティング・撤収は除く)

提出物：所定の応募用紙、メンバー写真1枚、録音音源

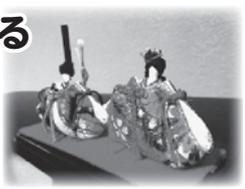
提出先：〒518-0809 伊賀市西明寺3240番地の2

(公財)伊賀市文化都市協会「伊賀の國バンドフェスティバル」係

\*各募集の詳細は、ホームページまたはリーフレットをご覧ください。

## 着物布で作る ミニチュア ひな人形

料金 500円  
講師 三木章子



おひなさまをつくってみよう。



## 伊勢型紙の ひな人形

料金 500円  
講師 澤井喜久男

2/17～3/3

会場 栄楽館

■当日現地にて受付(14時まで)

## 雛見茶会



2/17.18.24.25.3/3

OPEN 10:00～15:30

会場 栄楽館

内容 お抹茶・和菓子

料金 400円

## 手づくりアートの ひな人形展



2/17～3/3

OPEN 10:00～16:30

会場 入交家住宅

出展 手づくり作家約20名

入場  
無料



藩校に並ぶ  
伊賀焼と伊賀くみひもの  
おひなさん

2/17～3/3

入場  
無料

OPEN 10:00～16:30

会場 史跡旧崇広堂

出展 手づくり作家約20名

Akaike jyutaku  
higawari cafe

## Hinami cafe



出店 café de bunto 2/17  
くらさか風月堂 2/24  
いがまちカフェ 2/25  
オルテンシア 3/3

2/17.24.25.3/3

OPEN 10:00～16:00

会場 赤井家住宅

内容 Café&lunch

参加者  
募集

気軽に楽しく!



## 古代遺跡で!グラウンドゴルフ!

【日時】3月21日(水・祝)・3月23日(金) ※小雨決行  
いずれも13:30開始(受付13:00～)

※参加申込は、どちらか1日でお願いします。

【会場】城之越遺跡(伊賀市比土4724番地)

【参加費】1人300円

【定員】各日90人 ※定員になり次第締め切り

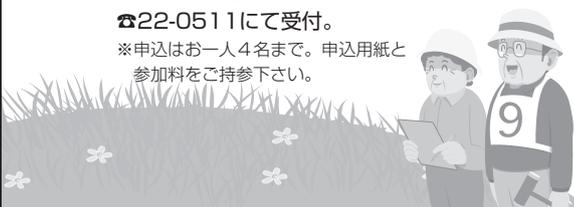
【申込】2月24日(土)

10:00から伊賀市文化会館窓口にて受付。

13:00の時点で定員に達していない場合は

☎22-0511にて受付。

※申込はお一人4名まで。申込用紙と  
参加料をご持参下さい。



## 芸術(舞台)用語

ちどり  
<千鳥>

互い違いのこと。千鳥格子からきた呼び名。たとえば平土間の客席で、椅子を前列の椅子と椅子の間に置いて後列の観客の視野を確保する配置をいう。  
(全国公立文化施設協会発行「舞台用語ハンドブック」より)

# 文化あれこれ 春夏秋冬 それは1996年に始まった 久保 勝啓さん

京都生まれ。70年代は京都のライブハウスでどっぷりとブルースにのめり込む。気がつけばブルースバンドのギター弾きになっていた。年月が経ち、京都から伊賀に居を移して地元メディアで働く私に、知人だった組紐作家のI氏から、「音楽イベントで伊賀の情報発信をしたい」という相談を受けた。コンセプトはふだん観ることができないアーティスト同士の「セッション!」。ブルースを媒体に「音楽で会話する!」と、その熱い口調に心拍数が上がり、興奮したのを今も覚えている。

早速、上野市文化振興財団(当時)に話を持ち込んだ。企画はとんとん拍子

に決まり、気がつけば沢山の市民有志が集い、国内外の有名ミュージシャンが出演の名乗りを上げていた。1996年第1回の「ブルース伊賀の乱」を開催。前代未聞の市民手づくりブルースフェスは、多くのマスコミが派手に取り上げ、瞬間に全国のブルースファンに広がった。

ブルース伊賀の乱はその後も毎年、多くの話題を包みながら11回の開催を数えたが、2006年に終了。そして7年の沈黙を経て、またもや創設者I氏が復活の狼煙を上げた。その結果、13年に伊賀市文化都市協会の自主事業として、

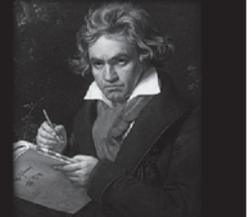


ゆる〜く復活を遂げるのである。またもや私は伊賀乱号に乗船を促され、今や洋上の人。「伝説のブルースフェス」を伊賀の誇りに、コーディネーターとして伊賀の乱を守ってゆく。  
(PARADISE REVUE BLUES BAND/BOSS)

## Classicのいろは2018

# ベートーヴェン

新年度のテーマは



### Hall Concert Schedule

ぶんとが2015年度に立ち上げた「地域のクラシック人口1%を目指そうプロジェクト」も4年目を迎えます。新年度のテーマは 楽聖 ベートーヴェン!  
ナビゲーターに大阪交響楽団常任指揮者の寺岡清高氏を迎え、楽しくわかりやすくベートーヴェンとその音楽をひもときます。



©飯島隆

<会場> 伊賀市文化会館 さまざまホール  
<時間> 開場13:30 開演14:00  
<演奏> 大阪交響楽団  
<ナビゲーター> 大阪交響楽団 常任指揮者 寺岡清高

**Vol.1** 6月17日(日)  
～運命はこのように扉を叩く～  
交響曲第5番「運命」ほか

**Vol.2** 9月17日(月・祝)  
～優雅と気品…。室内楽の頂点に触れる～  
ピアノ三重奏曲第7番「大公」ほか

**Vol.3** 11月17日(土)  
～難曲「ラズモフスキー」をひもとく～  
弦楽四重奏曲第9番ほか

**Vol.4** 2019年2月17日(土)  
～3名曲で追う楽聖のロマン～  
ピアノソナタ「月光」「悲愴」「熱情」ほか

【料 金】 4回セット券(Vol.1～Vol.4) 指定席 3,000円 ※セット券の発売期間3/17(土)～6/17(日)  
※6/17(日)以降、指定席単発券1,200円、各回単発券 自由席 一般1,000円・SaMaZaMa Club会員900円・高校生以下500円  
ペアチケット(2枚)1,600円 **3/17(土)発売開始**

### bimonthly Concert Schedule

**Vol.7** 4月14日(土) 13:30開場 14:00開演  
春の調べ  
中村早希・水谷早希(ピアノ独奏・デュオ)

**Vol.8** 5月27日(日) 13:30開場 14:00開演  
ハープとピアノによる心安らぐ音楽会  
杉本奈穂(ピアノ)・川出優奈(ハープ)

**Vol.9** 7月28日(土) 13:30開場 14:00開演  
名曲で奏でる午後の調べ  
Fleur(奥出容子・桃谷江美・ピアノ独奏・デュオ)  
ゲスト: アムールサクソフォンアンサンブル

<会場> 伊賀市文化会館ステージほか  
※10/6(土)は史跡旧崇広堂

**Vol.10** 10月6日(土) 15:00開場 15:30開演  
若き二人の演奏家によるデュオコンサート  
～秋を彩る 音楽の調べ～  
桂真優(ピアノ)・福岡裕子(クラリネット)

**Vol.11** 12月8日(土) 13:30開場 14:00開演  
ヴァイオリンとピアノで巡るヨーロッパの旅  
松江咲恵子(ピアノ)・古川佐保(ヴァイオリン)

**Vol.12** 2019年1月27日(日) 13:30開場 14:00開演  
声とピアノの響演～クラシカルな時間をあなたに～  
味岡真紀子(メゾソプラノ)・大喜多里枝(ピアノ)

【料 金】 500円(自由席) お得な回数券も販売しています。

【発売日】 Vol.7 2/24(土)・Vol.8 3/17(土)・Vol.9 5/27(日)・Vol.10 7/28(土)・Vol.11 10/6(土)・Vol.12 11/24(土)

# ぶんと通信

## 聴いて観てだあこ

ぶんとでは、伊賀市文化会館などの文化ホールを使った従来の音楽、演劇等の公演に加えて、文芸会館ロビー（ホワイエ）が多様な芸術作品の発表の場となるよう、かねてから絵画や華道、陶芸などの作品展を開催してきました。

一方で、伊賀市が主催する市展「いが」については、昨年度から企画・運営に参画し、作品公募から搬入、審査、展示にいたる運営ノウハウを学んできました。そして、冒頭

## 市展「いが」文化会館で

### 3月に開催します

ら25日（日）までの5日間、開催することになりました。開催告知については、凶案の異なるポスターを4回に分けて市内に掲示してきました。

市展「いが」は長年、中心市街地で秋に開催されてきたため、時期や会場の変更に戸惑いを覚える方も多いと思いますが、新しい要素を加味して生まれ変わりますので出展・鑑賞されるみなさまのご理解をいただきたいと思ひます。

具体的には、絵画・彫塑工芸・写真・書の4部門ごとに会場を設営し、市展「いが」に携わる運営委員、審査員の方々のご意見を反映しながら、作品が少しでも際立つような展示方法を模索したいと考えています。賞は、昨年度に新設した「ぶんと理事長賞」のほか、今回から伊賀上野ケーブルテレビ賞が加わります。

また、初日にウエルカムコンサートを、最終日にホールコンサートを、いずれも無料で開催します。ウエルカムコンサートは来館のみなさまをハープの調べで展示会場に誘います。さまざまホールコンサートの続きで、

伊賀市出身のヴァイオリニスト・坂元愛由子さんから3人の演奏を楽しんでいただけます。

文化ホールは、よく「文化発信拠点」などと言ひ表されま

す。あらゆる世代の人々が集まり、さまざまジャンル



動が繰り広げられる場でありたいと願っています。今回の市展「いが」でも、芸術と音楽が一体となった空間を創り、訪れる人々が心の豊かさを実感できるような場にしたいと考えています。

リニユールした市展「いが」に、ぜひお越しください。（担当・服部保之）

## 第13回市展「いが」日程

会場：伊賀市文化会館	
3月21日（水祝）	10:00 開場・ウエルカムコンサート
22日（木）	10:00～19:00 展示
23日（金）	//
24日（土）	//
25日（日）	10:00～16:00 展示
	14:00 表彰式
	15:00 ホールコンサート
	16:00 作品講評会

入場無料

## (公財)伊賀市文化都市協会

TEL.0595-22-0511 FAX.0595-22-0512  
〒518-0809  
三重県伊賀市西明寺3240番地の2  
Eメール samazama@bunto.com  
ホームページ http://www.bunto.com



## BUNTOチケット情報

**和太鼓フェスティバル 2018 冬蒼の響**

2/18日 好評発売中

開場 13:30 開演 14:00  
一般 3,000円 (当日500円増) (全席指定)  
伊賀市文化会館

**bimonthly lobby Concert Vol.6 夢**

2/24日 好評発売中

開場 13:30 開演 14:00  
一般 500円 (自由席120席程度)

**Classicのいろは Vol.4 古典派の名曲をオーケストラで**

3/17日 好評発売中

開場 16:00 開演 16:30  
一般 1,000円 (自由席)  
学 500円 (〃)  
ペアチケット 1,800円 (〃)

**第38回新人演奏会 in いが**

4/1日 好評発売中

開場 12:30 開演 13:00  
一般 1,000円 高校生以下無料 (全席自由)  
伊賀市文化会館

**Sing a Song**

歌に生きた一人の女とその歌を愛した人々の物語

2/25日 好評発売中

開場 13:30 開演 14:00  
一般 3,500円 (全席指定)  
伊賀市文化会館

**淀川吹奏楽部演奏会 伊賀公演**

3/4日 好評発売中

開場 14:00 開演 15:00  
一般 1,000円 (全席自由)  
伊賀市文化会館

**ブルース伊賀の乱 すきい〜に演ります ぼちぼちと...**

3/24日 好評発売中

開場 18:00 開演 18:30  
一般 3,500円 (全席自由)  
あやま文化センター

**笑顔のママと僕と息子の973日間 清水健 講演会**

5/19日 2/24日発売

開場 13:30 開演 14:00  
一般 1,000円 (全席指定)  
ふるさと会館いが

**第13回 さんさん名曲コンサート**

5/13日 3/25日発売

開場 13:30 開演 14:00  
一般 500円 (全席自由)  
あやま文化センター

**パンチャーズ ジャパン・ツアー 2018**

7/14日 3/10日発売

開場 13:30 開演 14:00  
一般 6,000円 (全席指定)  
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 青山ホール TEL.0595(24)7015  
TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが あやま文化センター TEL.0595(45)9125  
TEL.0595(43)1125